

早期景気観測調査

【10-11月期 調査結果概要報告書】

平成29年12月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成29年11月15日(水)～30日(木)
4. 調査対象： 当所会員140事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 102件
7. 有効回答率： 72.9%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【10-11月期の動き】

**業況は悪化に転じる。
サービス業の業況悪化が目立つ。
向こう3カ月の業況は、改善の見通し。**

10-11月期の全業種総合の業況DIは、▲10.8（前期比▲4.8）と悪化に転じた。売上DI、採算DI、仕入単価DIのいずれも悪化に転じている。また、従業員DIは5期連続でポイントは改善しているが、人手不足に拍車がかかり、金融貸出しDIについても悪化に転じた。向こう3カ月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、製造業、建設業で業況改善、卸売業、小売業、サービス業で業況悪化となった。

製造業の業況DIは3.8（前期比+7.5ポイント）と2期連続で改善し、平成27年6-7月期以来のプラス水準となった。売上DIが3期連続で改善し、また、採算DI、仕入単価DI、従業員DIのいずれも改善した。唯一、金融貸出しDIのみ悪化に転じている。

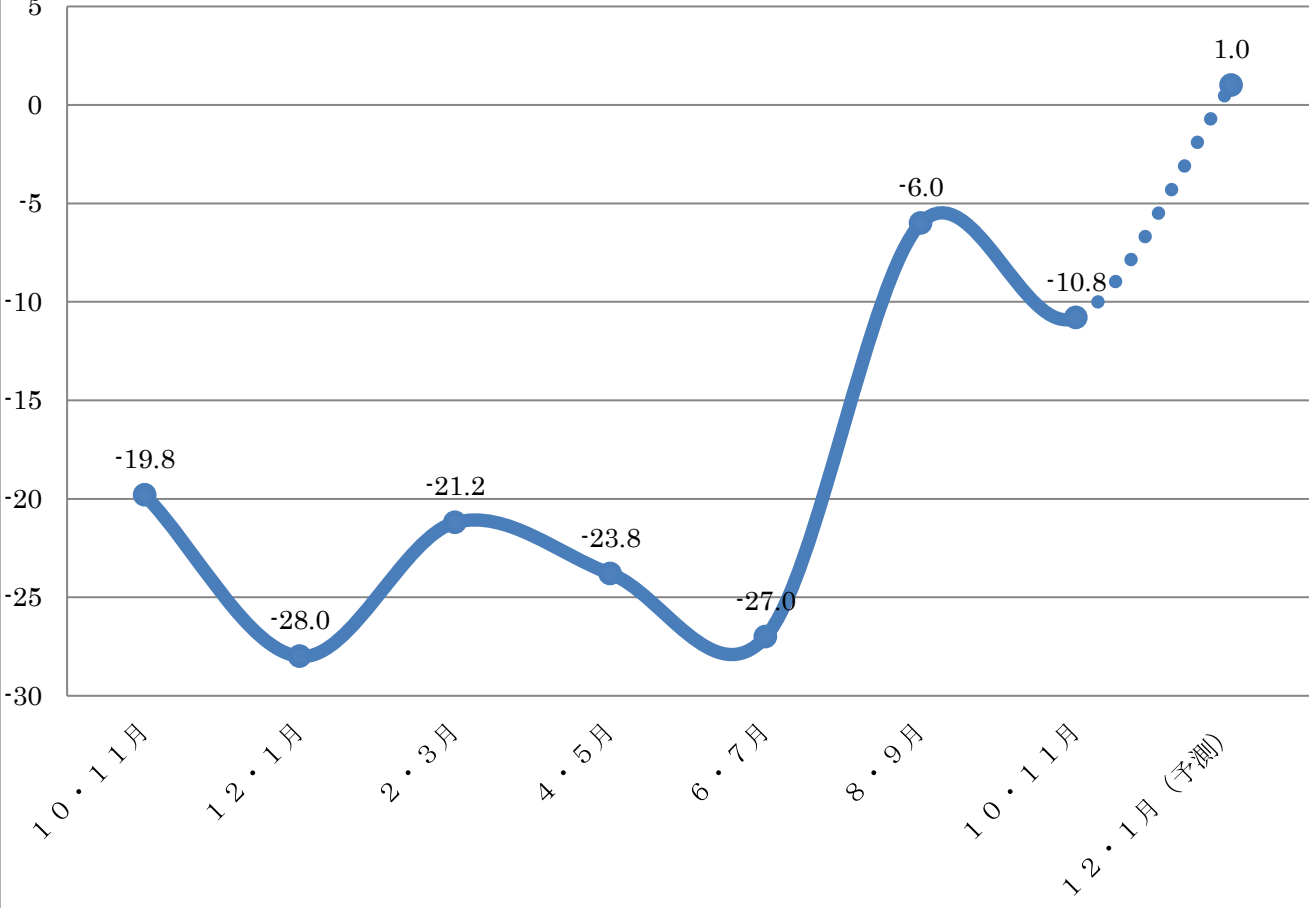
建設業の業況DIは▲10.5（前期比+21.1ポイント）と3期連続で改善し、大幅なプラスとなった。売上DIが36.8ポイントの大幅なプラスで改善に転じ、採算DIも21.0ポイントのプラスで3期連続の改善となった。一方で、仕入単価DIは悪化に転じている。従業員DIは21.1ポイントの大幅な改善ではあるが、人手不足は加速している。金融貸出しDIについては、改善している。

卸売業の業況DIは▲5.6（前期比▲11.5ポイント）と悪化に転じた。売上DI、採算DI、仕入単価DIのいずれも悪化に転じ、とりわけ売上DIは▲29.1ポイントの大幅なマイナスとなっている。従業員DIは改善に転じ、金融貸出しDIについては悪化に転じている。

小売業の業況DIは▲12.5（前期比▲3.4ポイント）と悪化に転じている。売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DIのいずれも悪化に転じた。唯一、金融貸出しDIのみ小幅な改善に転じている。

サービス業の業況DIは▲40.0（前期比▲53.3ポイント）と大幅な悪化に転じた。売上DIが86.7ポイント、採算DIが60.0ポイント、従業員DIが20.0ポイントとそれぞれ大幅なマイナスとなり、悪化に転じている。また、仕入単価DIも2期連続で悪化し、唯一、金融貸出しDIのみ横ばいの推移となった。

業況D I の推移








◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について


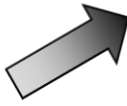

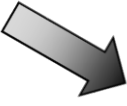

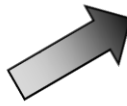

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲10.8	1.0	▲18.6	▲22.5	▲36.3	18.6	▲2.9


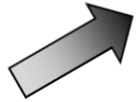
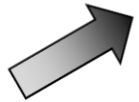
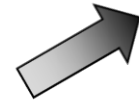
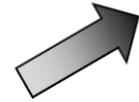
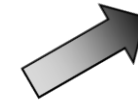

10-11月期の全業種総合の業況D I は、▲10.8 (前期比▲4.8) と悪化に転じた。

項目別では、売上D I (▲5.0→▲18.6)、採算D I (▲16.0→▲22.5)、仕入単価D I (▲30.0→▲36.3) のいずれも悪化に転じている。また、従業員D I (16.0→18.6) は5期連続でポイントは改善しているが、人手不足に拍車がかかり、金融貸出しD I (0.0→▲2.9) についても悪化に転じた。

向こう3カ月の先行き業況は、1.0と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業



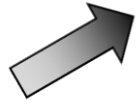
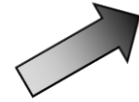

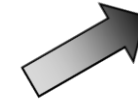
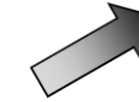
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
3. 8	19. 2	0. 0	▲11. 5	▲15. 4	15. 4	▲7. 7

業況DIは3. 8（前期比+7. 5ポイント）と2期連続で改善し、平成27年6-7月期以来のプラス水準となった。

項目別では、売上DI（▲7. 4→0. 0）が3期連続で改善し、また、採算DI（▲14. 8→▲11. 5）、仕入単価DI（▲29. 6→▲15. 4）、従業員DI（11. 1→15. 4）のいずれも改善した。唯一、金融貸出しDI（▲3. 7→▲7. 7）のみ悪化に転じている。

向こう3カ月の業況は、19. 2と改善する見通し。

建設業




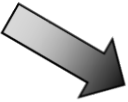


業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲10. 5	10. 5	0. 0	▲15. 8	▲36. 8	31. 6	5. 3

業況DIは▲10. 5（前期比+21. 1ポイント）と3期連続で改善し、大幅なプラスとなった。

項目別では、売上DI（▲36. 8→0. 0）が36. 8ポイントの大幅なプラスで改善に転じ、採算DI（▲36. 8→▲15. 8）も21. 0ポイントのプラスで3期連続の改善となった。一方で、仕入単価DI（▲21. 1→▲36. 8）は悪化に転じている。従業員DI（10. 5→31. 6）は21. 1ポイントの大幅な改善ではあるが、人手不足は加速している。金融貸出しDI（0. 0→5. 3）については、改善している。

向こう3カ月の業況は10. 5と大幅に改善する見通し。

卸売業




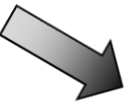
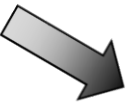
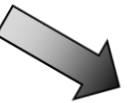

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲5.6	5.6	▲5.6	▲16.7	▲55.6	44.4	0.0

業況D Iは▲5.6（前期比▲11.5ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上D I（23.5→▲5.6）、採算D I（▲11.8→▲16.7）、仕入単価D I（▲47.1→▲55.6）のいずれも悪化に転じた。とりわけ、売上D Iは▲29.1ポイントの大幅なマイナスとなっている。従業員D I（41.2→44.4）は改善に転じ、金融貸出しD I（17.6→0.0）については悪化に転じている。

向こう3カ月の業況は、5.6と改善する見通し。

小売業


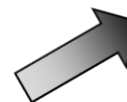




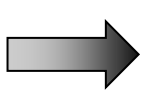
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲12.5	▲16.7	▲37.5	▲25.0	▲33.3	12.5	▲4.2

業況D Iは▲12.5（前期比▲3.4ポイント）と悪化に転じている。

項目別では、売上D I（▲18.2→▲37.5）、採算D I（▲18.2→▲25.0）、仕入単価D I（▲13.6→▲33.3）、従業員D I（13.6→12.5）のいずれも悪化に転じた。唯一、金融貸出しD I（▲4.5→▲4.2）のみ小幅な改善に転じている。

向こう3カ月の業況は▲16.7と悪化する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲40.0	▲20.0	▲60.0	▲53.3	▲53.3	▲13.3	▲6.7

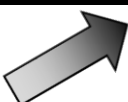
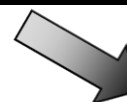
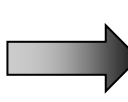



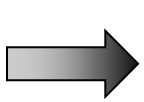
業況DIは▲40.0（前期比▲53.3ポイント）と大幅な悪化に転じた。

項目別では、売上DI（26.7→▲60.0）が86.7ポイント、採算DI（6.7→▲53.3）が60.0ポイント、従業員DI（6.7→▲13.3）が20.0ポイントとそれぞれ大幅なマイナスとなり、悪化に転じている。また、仕入単価DI（▲46.7→▲53.3）も2期連続で悪化し、唯一、金融貸出しDI（▲6.7）のみ横ばいの推移となった。







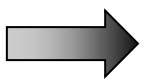
向こう3カ月の業況は、▲20.0と大幅に改善する見込み。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し






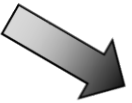

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し



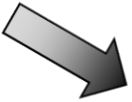

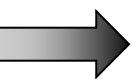
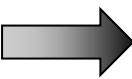
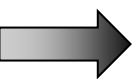
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し








卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						




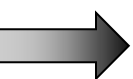
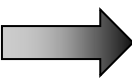


卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





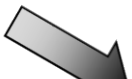


卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

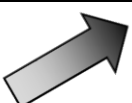
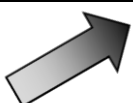




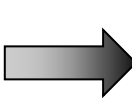
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





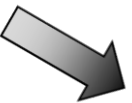

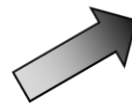
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



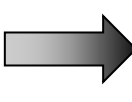

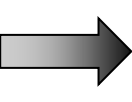
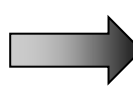
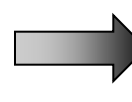
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







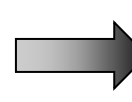
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


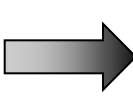



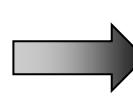
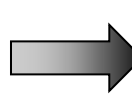
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







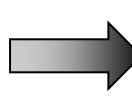
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・前期同様におせち関連大口の前倒し納品に加え、ホテル、ブライダルへの新規年間メニュー納品もスタートし業況上向き。昨年ダウンした年末の荷受け及び量販店の受注も順調。原料費は安定も、発送費等、間接経費の増加に今後注視。
- ・高級酒の状況は良くなってきているが、普通酒はやや減少傾向です。

製造業（工業製品）

- ・水晶業界全体では生産、受注ともに減少し、携帯電話関係が総じて低調。自動車用水晶振動子のみやや増加で堅調維持しています。

製造業（宝飾）

- ・ブライダル市場も良い企業と悪い企業の2極化がはっきりしてきています。

【建設業】

建設業（建築）

- ・公共工事の発注が遅いと思う。民間工事が活発になっている。
- ・首都圏の建設業者では、人手不足が深刻化している様子です。

建設業（土木）

- ・公共工事の発注が減少し、民間工事は改修、リフォームが多くなります。景気は政府が宣伝するほどよくない。大富豪には良く、貧乏衆は悪く、貧富の差が大きすぎる。年々人口減少になり、住む家を建てる方も少なくなります。

建設業（鉄鋼）

- ・原材料は安定しているが、鋼板納期が若干遅れ気味。受注はほぼ例年通り。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・大衆魚を中心に近年稀にみる不漁による漁価高が続き、消費の減少による売上の低下。

【小売業】

小売業（趣味・日用品）

- ・小売業にとって、ネット販売等の影響が非常に大きい。

小売業（家電）

- ・毎月同じ状態です。希望的な事はなく、店の閉店も考えるこのごろです。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・前年と比べ、祭日、土曜の利用が集中して多かったです。観光での利用が多いように思えます。ウィンタースタイズム、紅葉を見に来たお客が多かった。南アルプスに行く方は、国内、外国からのお客も多いのですが、今年は皆無に等しい秋でした。一昨年あたりは、タイ、ホンコン、中国、アメリカ、オランダあたりから広河原から身延の方まで競走する方も来ていました。

サービス業（観光）

- ・団体客も少ないようですし、個人の消費単価も減少しているようです。
- ・バス、観光ハイヤー代の高騰が目立つ。
- ・秋の観光シーズンも終わり、一段落しております。（去年並みです）
- ・10月の観光シーズンに、週末の雨天・台風の影響で、売上減少となりました。仕入単価は燃料（軽油）の値上がりが続いており、コスト増を懸念しています。
- ・10月は雨が多かったため減少しましたが、11月は天気の良い日が多かったため増加しました。

サービス業（飲食その他）

- ・鰻の最需要期を過ぎ、仕入単価は夏に比べると少し下落してきました。しかし、国内産は供給量が少なく高値で推移しています。質の悪い鰻も交じっており、職人泣かせです。いつもおいしい鰻を提供できるようにするには難しいです。

以上